



## ご入園・ご進級おめでとうございます

初めに、新入園児の保護者の方のために、園長の自己紹介をさせていただきます。私は1963年に京都で生まれ、今年で63歳になります。長女は結婚して6年目、次女も家を出て大学院生6年目となります。今は、妻と2人暮らしです。

滋賀県彦根市にある滋賀大学に在学中、滋賀YMCAでボランティアリーダーをしておりました。卒業後は、神戸YMCAで主に青少年活動に携わり17年奉職した後、イエス団の本部事務局で10年間勤め、当園は今年で12年目です。

さて、みどり野保育園は「キリストの精神」を大切にしていますので、2026年度の年間聖句と年主題を以下のように決めました。

### <年間聖句>

「あなたがたは地の塩である。」

マタイによる福音書5章13節（新共同訳）

### <年主題>

「おはなししてね、そばにいるよ」

「このくらいのことは、まあいいか」と妥協するたびごとに、わたしたちは塩気を失っていきます。仕事をしながらの子育ては大変です。お兄ちゃんやお姉ちゃんがいる家庭は、少しは経験があると言えるかもしれませんが、多くの場合、初めての経験と言えるでしょう。毎日のいろんなできごとに不安や戸惑い、心配が絶えません。難儀なことばかりで、子育てに疲れる時もあるでしょう。妥協したくもなりますよね。

しかし、料理の味付けに塩が必要であるのと同じように、こどもたちには、辛すぎず、薄すぎない、大人の愛情が必要なのです。こどもに合ったいい塩梅の愛情が必要なのです。しかし、これが難しい。

保護者の方々も人間ですから、毎日の仕事に追われて人間関係に悩み疲れ、たまには気晴らしもしたくなるかもしれません。一人で悩みを抱え込み過ぎないで、しんどい時は「**気楽にお話してくださいね。**」

時には保育士も弱音を吐くこともあります。けれども、みどり野保育園の職員は皆さんと共に子育てをしていこうと常に考えています。そして、こども達には、いつも「**そばにいるよ**」と働きかけます。

ですから、私たちは、全力でこどもに寄り添っていきたくと考えていますので、保護者の方々も私たちと力を合わせ、子育てしていきましょう。どうぞよろしくお願ひします。



2026年4月1日

園長 中田一夫